

自己評価の結果について 平成29年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

・キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にした教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・カトリック幼稚園としての教育理念に基づいた年間カリキュラムについて、職員の共通理解を深めるため会議で話し合い、学年リーダーを中心に毎月の保育のねらいをふまえた保育計画を立てて実践している。・園児の発達や生活を通し、楽しい雰囲気の中で、一人ひとりが、主体的に関われる環境を構成している。・集団生活でお互いを尊重し友達を思いやって助け合う等、良いつながりの中で心が育つよう、異年齢縦割りのクラス編成を行っている。

<p>2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安全な環境の中で安心して元気に遊べるよう、危険な箇所がないか、常に配慮している。 ・全保育室にストーブガードを取り付け、冬期の事故防止対策を行った。 ・園内の清掃を徹底し、換気などに気を配り、感染症の広がりを防いでいる。 ・一人ひとりの個性をありのまま受け止め、よく話を聞いて思いや考えに共感し、一緒に活動する。また、家庭との連携をとり共に成長を見守る。
<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活に関わる保育者が、よき社会人・よき人間としての意識を持ち、チームとして互いに協力し合い協働性を高める努力をする。 ・園児の変化をきめ細かく読み取り、長い目で成長を捉え、保育者もまた共に成長する喜びを見いだす。 ・上記をふまえ、担任としての自覚と責任を持ち、確実に仕事を遂行する事が基本であるが、各自の認識に差があるように思われた。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報の発信として、保育のねらい・園児の生活の様子・保育者の思い等を、園便り・ブログ・懇談会等で伝えている。また、保護者が楽しく子育てできるようによく話を聞き、気持ちを共有するよう努めている。 ・園への要望等、保護者のニーズには丁寧に耳を傾け、園の教育方針や事情を理解して頂きながら検討し、対応している。
<p>5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や社会の中で、更に豊かな体験が出来るよう、幼稚園以外の楽しい園外保育を行っている。 ・北11条教会のバザーに、園児・保護者とも参加し、地域の方々と交流している。また、毎年卒園生も楽しみにしてくれているようだ。 ・東区幼保小連携推進協議会に参加し、卒園する園児が小学校にスムーズに移行できるよう、必要な連携を取っている。 ・年間5回の園庭開放を行っているが、土曜日のみではなく平日開放を行い、園児との交流・園内見学の手機を設け好評であった。

<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、8月に日本モンテッソーリ全国大会(学会)、10月には日本モンテッソーリ東北支部研修会に参加し、モンテッソーリ教育の専門性を高められるよう勉強する事ができた。今後は園内研修を定期的に行い、共通理解のもと実践していきたい。 ・北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、札幌市教育センター研修、特別支援研修、東区幼稚園研修等に参加し学ぶことが出来たが、これらをどのように保育に生かしていけるか、自分の保育を省察していくことが大切と思われる。
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を行うことにより、自らの行為を振り返り、新たな課題が明確になった。今後は、役員会に於いて保護者代表としての学校関係者評価を頂き、結果はホームページで公開する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表に基づき各自が自分の保育を振り返り、保育者としての責任と自覚について改めて考える。 ・保護者の方々や地域、様々な専門家との連携をとり、学びを深めて、信頼関係を構築するように努める。 ・今後も、担任一人ではなく教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、チームとしての教職員間の共通理解と協力体制を築いていく。
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの侵入者を防ぐため、日常的な防犯対策として玄関出入口の電気施錠を行っている。警察や札幌私幼から提供される不審者情報には速やかに対応する。 ・消防法を踏まえ、施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練(火事・地震)を行い、園児避難誘導を行った。 ・伝染病の流行が予測される場合は、速やかに園医や保健所に相談し指導を受けて対処し、家庭に通知の必要があれば手紙を配付している。 ・緊急時に備え、園内にAEDを設置している。 ・玄関・1階ベランダに防犯カメラを設置し、画像を保存している。

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に気になるところがある園児、特別な支援を要する園児は、家庭や関係機関と連携・協力しながら、その状態にふさわしい援助を考え、発達と学びの連続性を確保するため、小学校との連携を図っている。
園に対する保護者の満足度の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より保護者の方からいただくお話や、母の会・懇談会等にいただく話に謙虚に耳を傾ける。また、この度の学校関係者評価の結果を真摯に受け止め、カトリック幼稚園・モンテッソーリ教育に求められている期待に応えられるよう努力する。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・異年齢縦割りクラスの中で、年長者が年少者を思いやり、見守る姿が自然と培われ、それぞれの年齢において有意義な発達が促されている。
- ・モンテッソーリ教育の研修等で得た知識等もカリキュラムに反映され、毎月の保育の狙いをふまえた計画的な指導内容が実践されている。
- ・園外から様々なジャンルの講師の方を招いてお話を聞く機会を頂いて、保護者として刺激を受けました。
- ・園内の畑で作ったお野菜の収穫ができ、そのお野菜を使ってお料理を作り食べることができますので作る楽しさ、食べる喜びを体得できます。

2. 保育の在り方、幼児への対応

- ・園内はいつも整理整頓が行き届いており、園バックのしまい方、服のかけ方、モンテッソーリ教具の片付けなどがやりやすく、また教えやすい環境ができています。
- ・入園前の未就園児クラスに通うことで園の雰囲気になれることができるので、入園後はスムーズに園生活を始めることができました。
- ・園児が安全で清潔な環境の中で安心して元気に遊べるよう、危険な箇所がないか常に配慮し、園内の清掃を徹底している。また、一人一人の個性を大切に思いやりや考えに共感し、子どもの好きなこと、得意なことを伸ばしている。
- ・全保育室のストープガード取り付けにより、園児はもちろんのこと、園に来る機会のあるエンジェルクラブのお子様や園児の弟妹などの小さな子どもたち、また、その親にとっても安心して過ごせる環境を提供してくれます。

3. 保育者としての資質

- ・保育者がモンテッソーリ教育への理解を深める努力をしており、良き大人として子供の模範となる態度で園児と接している。

- ・子供たちの個性を認め、自ら考えて行動できるよう、温かい目で子供を見守りながら適切な援助をしてくれている。
- ・園児の個性を認め、見守る姿勢で一人ひとりと接している。
- ・園児の変化をよく観察し、その成長を保護者へも報告されている。
- ・よき大人として子どもたちと関わる姿が、保育者としての責任を感じられる。行事などでも連携し協力し合い、先生方のチームワークを感じられる。

4. 保護者への対応および家庭との連携

- ・毎月の園だよりで保護者との情報の共有化が図られている。保護者からの要望には真摯に対応し、可能な範囲で早急に改善策を講じる一方で、守るべき理念を尊重する園としての姿勢が信頼に値する。
- ・降園時など、普段より子どもの様子や気になった事を気軽に尋ねられる雰囲気があり、また、先生方からも、「どんな事でも気になった事がありましたら言って下さい。」と、仰って頂き、信頼して子どもを通わせております。
- ・保育参観や母の会・園のブログなどで、子供達の幼稚園での生活や行事の様子を知ることができる。
- ・個人懇談や登降園時などに、先生が子供の成長や変化を教えてくれたり、保護者が気になった事を相談できるなど、先生と保護者が情報を共有する環境ができています。

5. 地域社会との連携

- ・地域の自然や社会の中で、実り豊かな体験ができるよう、年齢に合わせ園外保育を行っている。
- ・年5回の園庭解放を行い、地域の未就園児と在園時の交流も図られている。
- ・園外保育は大通公園での外遊び、円山動物園への遠足、りんご狩りと、恵まれて地域環境を生かしています。
- ・CAPプログラムで地域への安全、防犯意識を高めています。
- ・東区幼保小連携推進協議会のフィードバックがあり、小学校入学への安心感があります。
- ・季節に応じた様々な園外保育があり、子どもたちにとって大変楽しい行事であるとともに、自然の恵みを感じ、動植物に触れる貴重な機会となっている。
- ・バザーでは、先生方・保護者・教会・地域の方々と交流でき、子供達も食事と買い物を楽しみながら地域と関わる事のできる大切な行事であると思う。

6. 情報公開

- ・保育の現状等の情報を、クラスの保護者会や園便りでの積極的な公開に努めている。また、自己点検評価の結果をホームページにて情報公開されている。
- ・ホームページのブログは、子どもたちの園での様子を知る一つの手段で、園児の親として楽しませていただいております。
- ・自己評価の公開により、幼稚園側と保護者側との間で保育のあり方を再認識できる良さがあります。
- ・ブログでは、行事だけではなく日頃の子供達のお仕事の様子や遊び等が、簡潔な文章と沢山の写真で紹介されていてとても見やすい。
- ・幼稚園関係者評価から、保護者の声を聞くことができるとともに、園の雰囲気を知ることができる。

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見・ご感想は、本園の今後のために有効に活用させていただきます。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。